

2016年11月11日

関係各位

千代田化工建設株式会社
IR・広報・CSR セクション**インドのラーセン・アンド・トゥブロ社(Larsen & Toubro 社)への排煙脱硫技術供与について**

千代田化工建設株式会社(本社:横浜市、代表取締役社長:澁谷 省吾、以下「当社」)は、インドの大手重工メーカーであるラーセン・アンド・トゥブロ社(Larsen & Toubro 本社:インド、以下 L&T 社)に、CT-121 プロセス*の技術供与することが決定しましたのでお知らせいたします。

インド L&T 社は、インドの発電プラント建設市場で堅調な実績を積み上げており、当社と L&T 社は 1994 年にインドで合弁会社の L&T-Chiyoda を設立して以来、友好的関係を保っています。

今回の契約で当社は L&T 社に CT-121 プロセスの技術供与を行い、L&T 社はインドおよびその周辺国の市場において同プロセスの設計、調達、建設工事を担当します。

インド市場では急速な経済発展にともなう石炭火力発電所の需要と環境規制の強化により、今後、排煙脱硫装置設置の堅実な需要が見込まれ、当社の CT-121 プロセスは、その技術優位性から更なる受注が期待されます。

CT-121 プロセスは、国内外においてすでに 80 基以上の実績があり、環境規制の厳しい日本や米国の石炭火力発電所において 20%を超えるシェアを獲得しています。特に海外では日本で培った経験を基に、通常的设计・調達・建設とは異なる技術供与による収益性の高いビジネスを展開し、これまでに米国、中国、欧州などで成功を収めてきました。インド市場でも今回の L&T 社とのライセンス契約を足がかりとして、シェア拡大を図ってまいります。

***CT-121 プロセス(千代田サラブレッド 121 排煙脱硫法)**

石油・石炭焚きボイラーなどの排煙から二酸化硫黄(SO₂)を吸収し、石こうとして固定する千代田独自の排煙脱硫プロセス。吸収剤スラリーを排煙にスプレーする一般的な方式と異なり、吸収剤スラリー中に排煙を直接噴出、混合するジェット・バブリング・リアクターという特殊な装置を採用することにより、少ない消費動力で高い脱硫率を達成することが可能。本装置では、高い亜硫酸ガス除去率を実現できるだけでなく、排煙中の煤塵や硫酸ミストの除去率も極めて高く、今後規制が厳しくなると予想される水銀除去を含め、高効率の排煙クリーン化が達成されるものと期待されている。

以上

この件に関するお問い合わせ先: IR・広報・CSR セクション 塚本 朋之 / 横田 令子
電話: 045-225-7734 FAX: 045-225-4962
URL: <https://www.chiyoda-corp.com/contact/index.php>